

# 平成29年度 事業報告書

社会福祉法人 やまなみ会  
(施設名) ウィルアークス

## 目 次

I	はじめに	.....	1
II	全体状況報告	.....	1
	1 重点項目（目標）に対する報告及び考察	.....	1
	2 利用者状況	.....	1
	3 実習受入等	.....	2
	4 行事等	.....	2
	5 職員状況（人員、資格取得、研修等）	.....	3
III	個別事業報告	.....	3
	1 各事業	.....	3
	(1) 事業の取組み	.....	3
	(2) 課題・次年度への提起	.....	5
	2 防災・防火訓練報告	.....	5

## I はじめに

指定基準等の改正（H29.4.1～）に伴い就労支援 A 型事業所として生産活動に係る事業収入から生産活動に係る事業に必要な経費を控除した額が、利用者に支払う賃金の総額以上となるように定められた。これに伴い、当事業所でも今まで以上の売上獲得を目指し、事業の新規開拓・印刷事業や役務事業の拡大を目標に取り組んできた。改正初年度として、軌道に乗る道筋が立てられた一年となった。

## II 全体状況報告

### 1 重点項目（目標）に対する報告及び考察

前年度に掲げた重点項目に関する報告としてまず始めに、平成30年3月末時点での利用者平均賃金は月額平均70,915円となっており、前年度と比較すると月額平均9,657円増であった。

施設内における作業量の安定化については、12月より開始した木材加工作業により作業量の確保が行えたが、月の受注量の増減があり、安定化には至っていない。利用者の確保として就労移行事業の利用者を募っていたが、平成29年7月1日をもって現在休止している。

### 2 利用者状況

利用定員 就労継続支援 A 型 20名

就労移行（H29.7.1より休止）

利用状況（平成30年3末日）

現員 18名（男性：15 女性：3名） 年間月平均利用者数 16,34名

平成29年度利用者平均賃金	月額平均70,915円
---------------	-------------

利用者の障がい状況

身体障がい		知的障がい		精神障がい	
男性	女性	男性	女性	男性	女性
8（1）	0	8（1）	2（0）	0	1

（ ）は重複している者

新規利用者 0名 (男性：0名 女性：0名)

退職者 3名 (男性：3名 女性：0名)

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
採用	男												
	女												
退職	男					1		1			1		
	女												

本年は、増員なしの減員3名であった。利用者の高齢化も進んでおり、新規利用者の獲得が必要であり、ハローワークや相談事業所からの紹介での見学は多数あったが利用までには至らなかった。

また、利用者の確保が出来ず、平成29年7月1日より就労移行支援事業を休止している。

### 3 実習受入等

平成29年度は実習受入等はなし。

### 4 行事等

インターワーク・ウィルアークス・草原の風合同での利用者の方々との主な行事は以下の通りです。

また、各月事に誕生日を迎えられた利用者様と一緒に、お食事処峠での食事会も毎月行った。

#### ・主な行事等

期日	行事
4月14日	花見(バーベキュー)
12月22日	クリスマス会
各月1回	誕生会

## 5 職員状況（人員、資格取得、研修等）

施設業務に関連した専門知識の向上、習得を図る為授産施設協議会及び社会福祉協議会が主催する各種講習・研修会へ参加した。又、社会福祉に関する法令等に関する施設内職員研修も行った。

### ・主な参加研修会及び講習会

期日	参加研修及び講習会	参加人数
7月27日～28日	全国就労センター総合研究大会	1名
12月6日	産山地区防犯訓練（対象：産山地区4施設）	15名
3月15日～16日	サービス管理責任者研修（就労）	1名

## Ⅲ 個別事業報告

### 1 各事業

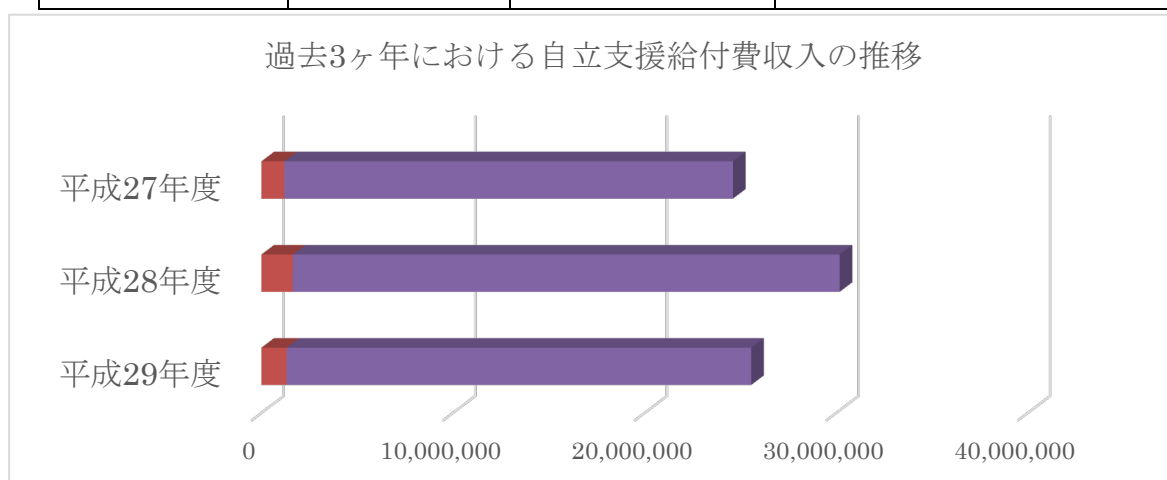
#### （1）事業の取組み

##### 福祉事業報告

施設収入は過去3ヶ年の推移で、比較してみると、前年度に新規利用者が増えた事で一時増収となったが定着に至らず退所され現在の施設収入は以下の通りである。

#### ウィルアークス 3ヶ年収入推移 【平成27年度～平成29年度】

	介護給付費	訓練等給付費	自立支援給付費合計
平成27年度	1,199,500	23,406,966	24,606,466
平成28年度	1,636,800	28,541,836	30,178,636
平成29年度	1,318,800	24,243,500	25,562,300



## 就労支援事業報告

本年度は製函・プラスチック粉碎作業の効率化を進め、そこで生まれた時間を役務や清掃作業にあて売上向上につなげた。

また、新規作業の取り込みを行うことで、作業量・売上の落ち込む冬季の作業や売上の確保に繋がった。又、できる限りの無駄をカットし、備品・材料も無駄なく使いきることに努め、経費の削減を行った。

## 印刷事業

官公庁からの受注が前年度に比べ大幅に増加している。冊子や製本などの印刷技術の向上と営業活動により売上に繋がっている。名刺やチラシなど個人の顧客も口コミ等により増えた。

## 加工事業

### プラスチック粉碎作業

現在1社の受注取引先であり、粉碎素材は毎月約3回入荷と安定しているが増加の見込みが無い。その為常時入る作業員のレベルアップに取り組み少ない人数で効率よく作業が出来るよう取り組み、異素材の混入を未然に防ぐ様、入荷時に仕分けを徹底する等生産効率の改善を図った。

### 製函作業

1社の取引先であり、熊本地震による受注減からは年々回復傾向にある。毎月の棚卸し等による品質面の強化を行った。

### 清掃作業

公共施設・一般企業、法人・個人住宅等のワックス清掃作業及び近隣の牧場や畜舎内などの清掃作業行っている。本年度は技術の向上に取り組み、住宅の清掃作業に力を入れ売上の向上に繋がっている。

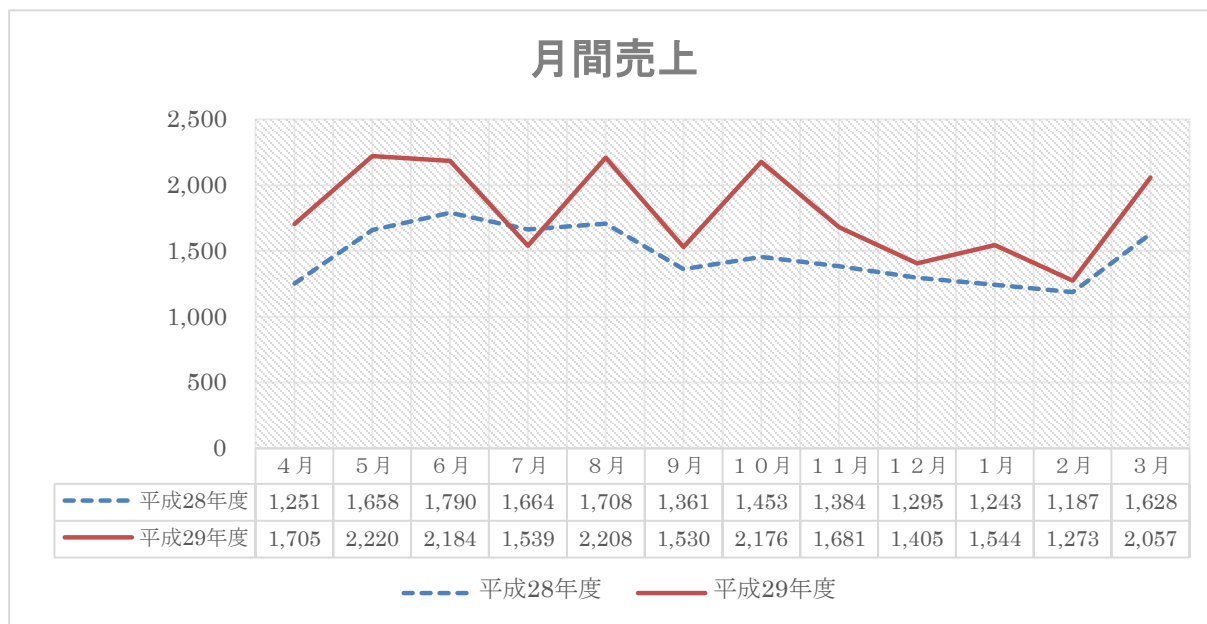
### 木材加工作業

平成29年12月より開始。パネルソーにて木材加工を行った。

## 役務事業

産山村内・阿蘇市・大分竹田市などでの、草刈・除草作業や畑・ハウスでの農作物の収穫作業の売上が飛躍的に伸びている。

## ウィルアークス就労収益



## (2) 課題・次年度への提起

前年度と比較し年間を通して大幅な収益増とはなっているが、月によるバラつきが多く見られ安定した収益があげられていない。次年度への提起としては、日々の作業量確保を目指し営業活動を引き続き行っていき、現在メインとして動いている印刷事業・役務事業を重点的に業務拡大を目指していく。また、地域や行政とも連携を図りながら地元根差した業務の拡大も行っていく。経費削減や作業の効率化も同時に進めていき、利用者の方々の賃金アップが実現できるよう、職員一同が目標達成に向け努力していく。

## 2 防災・防火訓練報告

- ・ H30. 3. 26 消防署立会いの下防火訓練を行った。
- ・ 緊急時における防災対策の意識向上に努めた。
- ・ 集会等での意識向上
- ・ 防災マップの策定
- ・ 避難通路の確保
- ・ 消火設備の点検
- ・ 機械等の定期点検及び使用前点検の義務
- ・ 休憩室等のたばこの後始末についての指導・支援
- ・ 退勤時の点検